

記念物 名勝／国指定

ひらどりょうちかたはつきしょう(ひらどはつけい)

## 平戸領地方八奇勝(平戸八景)

天保年間(1830~1843)に平戸藩第10代藩主・松浦照(ひろむ)が領地内の名勝・奇勝地を選び、京都の絵師、沢渡広繁に描かせ、「平戸地方八奇勝」として照会したことが始まりである。「潮之目」、「福石山」、「岩屋宮」、「眼鏡岩」、「石橋」、「潜龍水」、「大悲観」、「高巖」の八カ所の内、「潮之目」、「福石山」、「岩屋宮」、「石橋」、「潜龍水」、「大悲観」、「高巖」が国の指定を受けている。

### ① 潮之目



早岐瀬戸で最も狭い幅約10mの瀬戸。潮の干満によって激流を作り、「速来」=「はいき」地名の由来にもなったという。

### ② 福石山(羅漢窟)



若葉町の福石観音境内にある間口約50mの洞穴。洞内には五百羅漢仏が安置されている。鎌倉時代の人々が暮らした(龍神洞窟)遺跡でもある。

### ③ 岩屋宮(穴妙見)



須佐町の須佐神社境内にある間口約10mの洞穴。奥行きが深く、伊万里まで続いているとの伝説もある。洞内は神域となっている。

### ④ 眼鏡岩



瀬戸越町の眼鏡岩寺境内にある。砂岩の大岩に直径約8m、10mの穴が開いたもの。背伸びをした鬼の足が岩を破壊したとの伝説がある。

### ⑤ 石橋(御橋観音)



吉井町直谷の御橋観音寺境内にある全長約27m、幅約4mの二本の天然石橋。高さは約20mある。紅葉の名所としても有名。

### ⑥ 潜龍水(潜龍の滝)



江迎川上流にある落差約20mの滝。吉井町車ノ尾と江迎町田ノ元の境目付近にある。修験道の霊場ともなっており、かつては女人禁制だった。

### ⑦ 大悲観



小佐々町小坂にある高さ約20mの砂岩の浸食残丘。松浦照の揮毫により「大悲観」の大文字が彫られている。

### ⑧ 高巖(高岩)



江迎町小川内の江迎川沿いにある高さ約30mの砂岩断崖。直下を平戸往還が通っていた。断崖に絡みついたツタは晩秋に紅葉し、岩は赤く染まる。

